



果菜類の定植準備について

Point 1 高温対策をしましょう

深く耕して、根をよく張らせましょう

土を深く(30 cmくらいまで)耕し堆肥を施用することで、根が深く張ります。土の表面が乾いても、下層には水分が残っているため高温による乾燥に耐えやすいです。

資材を利用して地温の上昇を防ぎましょう

○マルチを張る…マルチを張ると、水分の蒸発を防げます。後の苗のまわりや株間・通路にわらを敷くと、水分の蒸発を防げます。地温も上がり過ぎません。

堆肥を入れた土



土を深く耕します。



硬くしまった土



堆肥を施用しましょう。堆肥は1aあたり200kgの施用がめやすです。根が張りやすいふかふかの土にしましょう。

引用…タキイ種苗の園芸新知識原図…板木利隆



マルチの上からでも刈り草やわらを敷くことで地温の上昇を軽減できます。



シルバーマルチを使用した様子。白黒マルチやシルバーマルチは、黒マルチより地温の上昇を抑制できます。

Point 2

定植時に害虫防除をしましょう

今年は春の気温が高いと予想されており、害虫の活動開始も早まる可能性があります。定植後すぐにアブラムシなどの害虫が発生すると、その後の生育が悪くなってしまう可能性があります。定植時に対策をして、生育初期の害虫を防除しましょう。

トマト・ミニトマト・きゅうり・なすの定植時に使用できる農薬の例

薬剤名	作物名	適用害虫名	使用量	使用方法	使用回数
スタークル粒剤	トマト・ミニトマト	アブラムシ類	1g/株	植穴土壌混和	1回
		ハモグリバエ類	1~2g/株		
		コナジラミ類	1~2g/株		
	きゅうり	アブラムシ類	1~2g/株		
		コナジラミ類	1~2g/株		
		アザミウマ類	2g/株		
オルトラン粒剤	トマト	アブラムシ類	1g/株	作条散布又は植穴処理	1回
		ハモグリバエ類	1~2g/株		
		コナジラミ類	1~2g/株		
	きゅうり・なす	アブラムシ類	1g/株		
		コナジラミ類	1~2g/株		
		アザミウマ類	2g/株		
ジェイエース粒剤	トマト	アブラムシ類	1g/株	作条散布又は植穴処理	1回
		ハモグリバエ類	1~2g/株		
		コナジラミ類	1~2g/株		
	きゅうり・なす	アブラムシ類	1g/株		
		ハモグリバエ類	1~2g/株		
		コナジラミ類	1~2g/株		

Point 3

定植は浅めに



○株元が少し盛り上がる程度に植えます。土のかけすぎや深植えは避けましょう。
○株元を押さえつけすぎると根が切れたり水がしみこみにくくなるため、株元は押さえすぎないようにしましょう。

ラベルをよく確認する

適用害虫と使用方法	適用作物名	希釈倍率
はくばい	コナジラミ、アブラムシ	1000~2000
きゅうり	アブラムシ	1000
なす	アブラムシ	1000~2000

適用作物・適用病害虫・希釈倍率・使用量・使用方法・使用時期・成分の総使用回数を必ず確認しましょう!



農薬の使用状況を記帳する



使用日時・農薬の名称・使用量・天候、その他気づいたこと等を記録しましょう!



周囲への飛散を防ぐ

周辺の農作物・住宅・風向きや風量に注意しましょう!



農薬は正しく使いましょう